

社会保険労務士からの三方一両得だより

平成31年2月20日 第113号

寒たまご祭りに行ってきました

雪の降った日の翌日に、栃木市の太平山に行ってきました。太平山といえば急な坂道が印象的ですので雪が少し心配だったのですが、お昼頃に行くと道の雪はすっかり溶けており、運転には全く影響はありませんでした。

なぜわざわざ太平山に行ったのかというと、ふと目にした「寒たまごまつり」の語感のユニークさにどうにも惹かれてしまったからです。ネットで検索したところ、「名物である卵焼きを作る際、



たくさん使われる卵への感謝と供養の思いを込めて、太平山神社に卵を奉納し、その後、玉子焼にして、境内を訪れる観光客のみなさまに召し上がっていただく」そうです。イベント自体は8日(金)のみですが、周辺のお店で割引サービスがあるとのことでした。奉納した後卵焼きにして食べるという、物を無駄にしないという考え方に共感しました、イベントは初日だけというのも無理しておらずいいですね。

なんと今年で4回目。

頂上近くの茶屋に入り、手打ちそばの定食と、「焼き鳥、だんご、卵焼き」の太平山三大名物をいただきました。放し飼いの鶏の卵だそうで、とても美味しかったです。



卵焼きが半額になりました。



虫食いのない綺麗な青梗菜です。

今日(二月十九日)久々にしっかりとした雨が降り始め、花も植木も野菜も喜んでいいることと思います。今年の冬は大根や長ネギの生育が非常に悪く、もしかすると雨が少なかったせいなのかもしれないと思っ

我が家の畑

ています。いつもは虫食いだらけの青梗菜が、まったく虫に食われておらず、これも乾燥していたせいなのでしょう。とても綺麗なのですが、やはり成長が悪く、小さいまま収穫するところになりそうです。来月には早くも春大根の種蒔きです。

「健康経営」——他社はどのような取組みを行っているのか？

東京商工会議所から健康経営に関する実態調査が公表されました。健康経営については大分認知されてきているかと思いますが、他社はこういった取組みしているのか、その効果のほどはどうか、気になるかと思えます。

おさらい～健康経営とは？

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する経営手法。企業理念に基づいて、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に行政向上等につながると期待されています。

実践している具体的な取組み

- 1位:健診・検診(健康診断受診率 100%、人間ドックの費用負担等)
- 2位:労働時間等の適正化(ノー残業デイの設置や有休取得の推奨等)
- 3位:禁煙・分煙(事業所内の完全禁煙や禁煙の推奨等)
- 4位:スポーツイベントの実施(ウォーキング大会等の社内イベントの実施、ラジオ体操の実施等)
- 5位:メンタルヘルス(産業医や保健師との面

談実施、メンタルヘルスチェックの実施等)

6位:ストレスチェック(ストレスチェックの実施、そのフォローアップ等)

7位:職場環境改善(希望者へ椅子としてバランスボールを支給、事業所内に健康器具や血圧計の設置等)

8位:健康企業宣言



健康経営に取り組むにあたり、その効果として魅力に感じているもの

- 1位:従業員満足度の向上(従業員の定着率の向上など)
 - 2位:従業員の健康意識の高まり
 - 3位:生産性の向上(作業効率の向上)
 - 4位:業績の向上
 - 5位:社内のコミュニケーションの活性化
 - 6位:労働時間の適正化、有休取得率増加
 - 7位:企業ブランドイメージの向上(採用活動への影響など)
 - 8位:メディア等への露出の増加
- 得られる効果への少し過剰な期待が気になりますが、とりあえず気楽にできそうなことからやってみることが大切だと思います。